

2022 年「秋らめない夏まつり」次回開催へ向けての検討会コメント

開催日程と時間について

- 秋開催でも多数の来場者があり、協力者の熱中症リスクが無く体力的にも楽な秋の夕刻開催が良いのではないか。
- ハロウィンを意識した子ども会との共催も継続したい。
- 10 月開催の場合、運動会などの行事との調整が必要。
- 今回は 2 時間 30 分に開催時間を短縮したこともあり、特にパフォーマンス出演者、出店者などがゆっくりと楽しむことが出来なかった。全体の開催時間、パフォーマンスの開始時間、休憩時間、出店の終了時間を早めてステージフィナーレを盛り上げるなど、全員が楽しめる時間配分とする。
- 名称は「日吉台まつり」のような季節に関係しないものにしては。

全体のレイアウトについて

- 校舎側ステージ、円弧状出店レイアウトは概ね好評だった。
- ステージが立ち見であったので、飲食スペースを含めて観覧用の座席配置、着席用のブルーシートなどを検討する。
- 立ち入り禁止ロープは良かった。

ゴミ持ち帰りについて

- ゴミ持ち帰りは今後も継続する。(但し汁物販売などをする場合は要対応)
- 校庭に爪楊枝や針金と言った小さなゴミがあった。近隣の三西公園などでのゴミ発生があった。

出店部門

- 飲食ブースが少なかったので、次年度は飲食ブースの増加を図る。(出店者との競合にも配慮しながら、キッチンカー導入なども選択肢として入れてはどうか)
- 座って食べる場所(出来ればパフォーマンスを見ながら)があると良い。
- 出店者に対し公民館キッチン使用を伝えると同時に、予め公民館との間で使用ルールを定めておく。
- 出店者側での準備事項、事務局への依頼事項(特に必要な電力など)を明確にし、かつ変更の締切日を決めてそれ以降の変更は許可しない。(プログラム内容との不一致などが起こる)

出演部門・音響

- ステージ音響、照明などは非常に良かったので来年以降も継続して頂きたい。
- 円弧配置の端部などでは若干音が届きにくい場所があった。
- ステージ後ろのカーテン閉め、照明の改善(スクリーンの購入なども)を検討する。
- 来場者にペンライトを渡すなども観客一体となった演出もあると良い。
- 近隣世帯への理解・協力依頼はリハーサル前に出しておく。
- パフォーマーの練習用公民館利用について公民館との間で取り決め、文書化しておく。

電気照明

- 届出以外の照明、電気器具の使用をしないように依頼する。
- 時間の延長や出店の増加がある場合、発電機のリースを検討する。(途中給油は危険、容量が大きくなると小型発電機では苦しい)

広報・写真

- プログラム外部印刷、写真撮影を依頼したのは良かった。
- 写真の活用については、販売などを含めてもっと工夫すると良い。
- ポスターの作成等をもう少し前倒しして実施すると良い。

設営・運搬

- 作業開始は予定時間を出来るだけ守る。（人が集まった時には作業が大半終わっていることがあった、例 前日準備、翌日掃除）
- 設営の図面は使いやすく、実際の設営もテント間を渡る配線がなく、作業がやり易かった。
- 作業設営の応援者が多数で良かった。
- 市民センターでの前日を含む準備、当日の積み込み、返却などの時間。必要人数や応援者について再検討する。

組織、運営に関する事、その他

- パフォーマー・出店者・サポーターの公募、若い方を中心にした新しい組織体制について早々に検討を始める。
- 各段階での会議出席者、意思決定参加者が不明確で、特に開催延期等重要な意思決定の段階で実際のパフォーマーや出店者の意見が反映されなかったことがあるので、責任範囲を明確にしたシンプルでスリムな組織体制とする。
- 音響や照明、撮影などで機材を提供して下さっている方への謝礼と共に、損傷があった際などの保険や対応範囲について検討が必要。
- 学校前横断歩道の照明が暗かったので、これは次年度の学区要望項目として検討する。
- 屋内・屋外の機材の分離し、回収時に什器の清掃を省略することを検討する。（公民館什器）
- コロナ対策にはお願い事項が必ずしも守られていない面があったので（次回開催時に同様な対策が必要であれば）依頼事項が守られるように検討が必要。